

総合的な学習の時間 「みんなが幸せになるために」

川崎市立古川小学校

単元（題材）目標

○障がいのある人や高齢者について学ぶことを通して、自分にできることを考えることができる。

（1）実施時期

11月～1月

（2）対象（学年等・人数）

4学年

（3）指導者（教諭・外部講師等）

学級担任



（4）実施内容

国語「だれもが幸せになるためには」を導入とし、総合的な学習と関連させて福祉の学習を行った。様々な障がいがある中で、それぞれが興味をもったことについてグループで調べ学習をし、グループごとに発表をした。

○手話体験…教育委員会から配付された手話リーフレットをもとに、全員が自分の名前と簡単なあいさつ表現を体験した。

○手話グループの発表

- ・手話での自己紹介
- ・よく使われる日常会話について
- ・外国と日本の手話の違いについて
- ・聴覚障がいの人たちの困り感について
- ・「うみ」を手話つきで歌う
- ・自分たちにできること

（5）成果

・手話に興味をもち、自分の名前以外にも手話を使って表現しようとする子どもたちの姿が見られた。

・手話グループでなかった子どもたちも、手話を体験することによって、聴覚障がいをもつ人たちとどのように接していくか、自分ができることを考えることができた。

<児童の感想(一部)>

- ・聴覚障がい困っている人たちを手話で勇気づけたいと思った。
- ・聴覚障がい困っている人がいたら、自分から声をかけて助けたいと思った。

（6）その他

今後授業参観の際に保護者にも調べたことを発表する機会を設けている。